

2022 年度 第 4 回理事会報告

第 4 回理事会は、2023 年 3 月 25 日(土)13:30 から Zoom によるオンライン会議で開催されました。出席者は、浦野正樹会長、増田聡、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知且、磯部友彦、石田信博、山崎健、川瀬正樹、外井哲志、森傑、齊藤綾美、土居洋平、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一の各理事でした。

議事の概要は次の通りです。

■議題 1 2022 年度事業報告案および決算案について

2022 年度事業報告および 3 月 25 日現在の決算見通しについて報告がなされました。今後確定したら理事会で決定し、11 月の総会に諮ることになります。

■議題 2 2023 年度事業計画および予算案について

2023 年度事業計画および予算案について報告があり、了承されました。なお今後事業計画等に追加がなされることもあるとの説明がありました。

■議題 3 学会賞事務局関係

学会賞事務局より、外国語著作賞の応募はなかったこと、学会賞、特別賞は 4 月末の締切りで募集中であること、論文賞の対象のリストアップ作業をしていることの報告がありました。

■議題 4 年報事務局報告

年報事務局より、年報第 55 号の発行遅れについての陳謝があり、今後のサポート体制について説明がありました。また 56 号の編集計画について説明がありました。

■議題 5 論文審査事務局報告

論文審査事務局より、2022 年度査読付き論文審査結果が最終段階にあること、2023 年度の査読付き論文の投稿は 11 月 30 日を締切りとして募集することが報告され、また論文審査業務にかかる業務量・作業時間について説明がなされました。

■議題 6 第 69 回大会報告

中部都市学会より、名古屋市において開催された第 69 回大会報告がありました。この中で参加人数が 113 人であったこと、収支について、大幸財団からの補助金、新型コロナのため懇親会開催を見送ったことなどにより、経費が低く押さえられ、本部から支出される大会開催費を減額して 30 万円とし差額 20 万円を本部に返金したことが報告されました。

■議題7 第70回大会について

関東都市学会より、本年11月3日から5日にかけて小田原市で開催予定の第70回大会について、その大会概要、大会テーマ、開催のお知らせ文などについて説明がありました。今後関東都市学会での検討を踏まえて周知していくことが報告されました。また昨年の名古屋大会の経験を踏まえ、申し込みなどを原則オンラインで行うことが確認されました。

■議題8 倫理委員会報告

倫理委員会より、会長からの諮問や会員からの申し出はなく、今年度の委員会開催はなかったことが報告されました。また現委員の任期が3月末で満了となりますが、多くの各地域都市学会選出理事が確定する6月の理事会で後任を選出することになり、それまでの間現委員が引き続き任務に当たることとし、そのために必要な規程の改正を行いました。

■議題9 その他

- (1)『日本都市学会年報』のバックナンバーをPDF化し、将来的にJ-stageなどでオンライン公開できないか、その費用と体制の検討を始めることにしました。
- (2)本部を含む分担事務局の事務負担を軽減するため、アルバイト費用を支出する形の補助員を依頼できるようにする方向で方策を考えることにしました。

以上